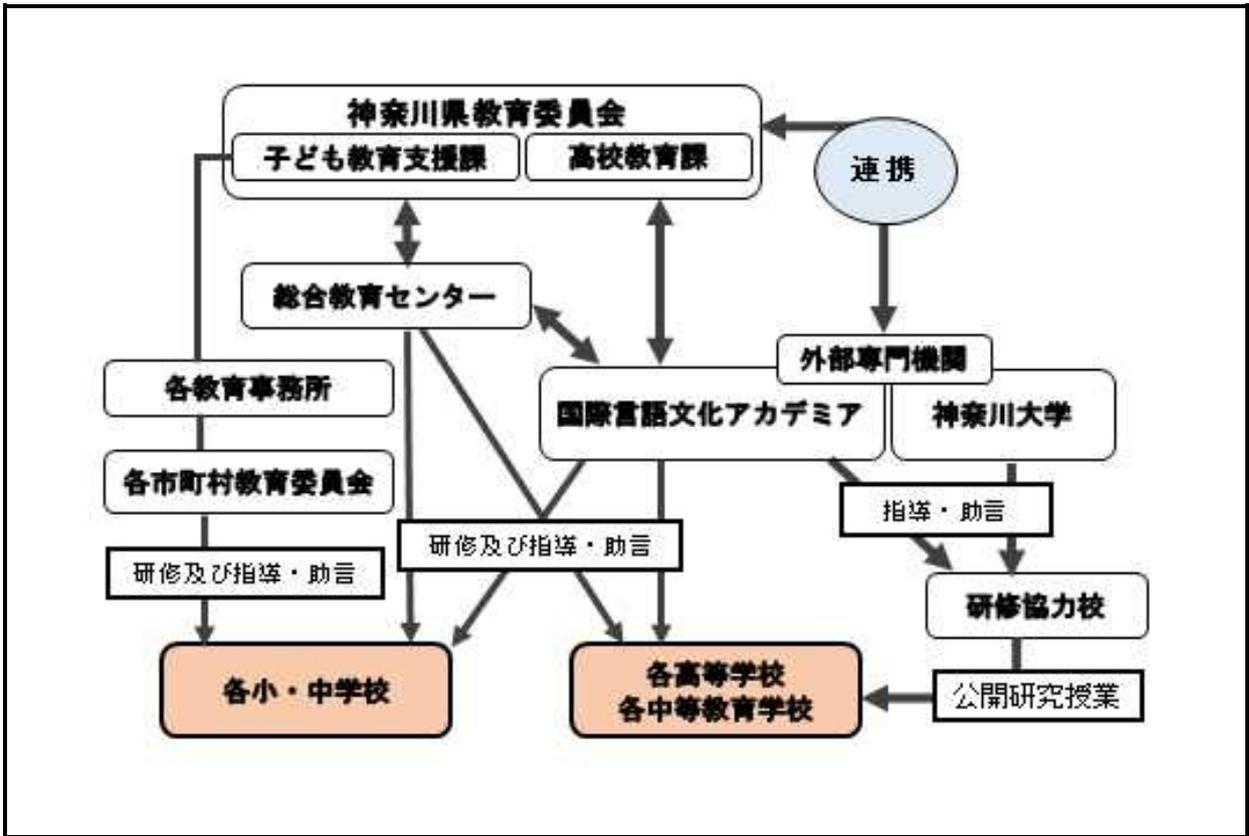


(様式3-2)

# 神奈川県英語教育改善プラン

## 実施内容

## (1) 研修体制の概要



## (2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

## 【高等学校】

## 《目標達成に向けた取組》

目標を達成するため、以下の取組を実施する。

## ① 「求められる英語力を有する英語担当教員の割合」について

「英語教員指導力向上研修」を実施して英語担当教員の英語力及び英語指導力を向上させるとともに、管理職対象及び英語担当教員対象の教育課程説明会や総合教育センターの指定研修において、英語担当教員の外部検定試験の受験を奨励していく。また、外部検定試験の受験料を支援し、教員が自身の英語力を把握できるようにする。平成29年度は、これらの取組の成果として、求められる英語力を有する教員の割合については、前年度比5.8%増の63.5%となった。平成30年度も目標値である70%達成に向けて、引き続き教員の英語力向上を図っていく。

## ② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について

外部専門機関や総合教育センターと連携しながら、研修協力校を10回程度訪問し、授業視察及び指導・助言により英語担当教員の指導力を高め、生徒の英語力の向上につなげる。授業は公開研究授業とし、他校の教員も生徒の英語力向上に向けた協議に参加する。成果を教育課程説明会を通して全県立高等学校に周知し、各校の授業改善を図る。また、生徒の主体的な英語学習を促し、英語4技能をバランスよく育成するために、平成28年度より約8000人の生徒を対象に外部検定試験の受験料の半額を県が負担している。平成29年度は、これらの取組の成果として、生徒の英語力の把握の機会が増加し、英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる生徒の割合は、前年度比5.1%増の44%となった。平成30年度も目標値である50%達成に向けて、引き続き生徒の英語力向上を図っていく。

③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について

全校が『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標を設定するとともに、スピーキングテスト及びライティングテストを必ず行うこととし、教育課程調査において、指導主事が、訪問校の実施状況を確認して指導・助言を行う。また、各校が年間指導計画と『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標を併せて生徒に配付することによって、全校が自校の指導目標を公表することとする。平成29年度の達成値では、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学校は6.2%増加の31.5%に留まっており、まだ不十分な結果である。各校において英語4技能に係るパフォーマンステストの実施回数を引き上げる上でも、「CAN-DOリスト」を公表し、学習到達目標の実現に向けて、学校全体で組織的に取り組むことを周知・徹底する。

③ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について

平成29年度の達成値は、前年度比0.3%減の46.7%となっており、平成30年度は目標値である50%達成に向けて、さらに授業改善に係る取組を推進する必要がある。外部専門機関の指導・助言の下で研修協力校において実施したパフォーマンステストや取組事例を周知するとともに、総合教育センターが行う指定研修及び国際言語文化アカデミアが行う「英語教育アドヴァンスト研修」や「英語教員指導力向上研修」等を通して、各校の授業改善を図り、ペアワークやグループワーク等を通じた言語活動を中心とした授業が行われるように取り組む。また、小中高の研修協力校間で授業を公開し、小中高の円滑な接続が行われるように取り組む。

④ 「各科目におけるスピーキングテスト及びライティングテストの実施状況」について

平成29年度の達成値では、スピーキングテストの実施回数は、全科目の平均が1.64回で前年度比0.2回増加した。一方でライティングテストの実施回数は、全科目の平均が1.14回で前年度比0.2回減少した。目標値の達成を目指し、外部専門機関の指導・助言の下で研修協力校において実施したパフォーマンステストや取組事例を全県立高等学校に周知するとともに、総合教育センターが行う指定研修及び国際言語文化アカデミアが行う「英語教育アドヴァンスト研修」や「英語教員指導力向上研修」等を通して、各校の授業改善を図り、各科目におけるパフォーマンステストの実施回数が増え、その評価が着実に実行されるように取り組む。

⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について

平成29年度の達成値は、前年度比2.2%増の55.4%となっている。平成30年度も引き続き研修協力校及びグローバル教育研究推進校による公開研究授業や研究発表を通して参考となる授業や取組事例を周知するとともに、総合教育センターが行う指定研修及び国際言語文化アカデミアが行う「英語教育アドヴァンスト研修」や「英語教員指導力向上研修」等を通して、各校の授業改善を図る。

⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について

現在の取組を継続・検証していく。また、総合教育センター及び国際言語文化アカデミアと連携し、学校訪問による授業視察及び指導・助言を行う。

《検証・改善》

教員の数値目標達成に向けては、以下の方法でその進捗状況を定期的に管理し改善に努める。

- 県内全高等学校に対する英語教育実施状況調査（英語教員の外部検定試験受験結果等の把握を含む）[12月]
- 「英語教育アドヴァンスト研修」参加者に対する「教師向けCAN-DOリスト」による調査[1月]
- 「英語教育アドヴァンスト研修」参加者に対する授業観察[6月、11月]
- 「英語教育アドヴァンスト研修」修了者に対する追跡調査[5月～11月]

- ・ 県教育委員会、総合教育センター指導主事による学校訪問時における、管理職及び教員に対する聞き取り調査〔通年〕

### 【中学校】

#### 《目標達成に向けた取組》

目標を達成するため、次の取組を実施する。

- ① 「求められる英語力を有する英語担当教員の割合」について  
英語教育推進リーダーを講師とした「英語教員指導力向上研修」において、英語教員に求められるスピーキングやライティング等のスキルの向上を図るとともに、市町村教育委員会が英語教員の英語力向上のための研修を実施するように促す。また、各地区で実施する新教育課程説明会において、英語教員の英語力向上の必要性を伝え、外部検定試験の受験や資格取得を奨励する。
- ② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について  
英検 3 級程度の英語力に必要とされる 4 技能 5 領域それぞれの指標を「CAN-DO リスト」形式で示し、英検 3 級程度の英語力の判断について、一定の基準を設定する。  
また、各中学校における授業改善を図り、生徒の英語への興味関心を高め、自ら英語を学ぶ姿勢を身に付けさせるため、「英語教員指導力向上研修」や地域における研修において、参考となる授業や取組事例を紹介する。
- ③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について  
平成 29 年 12 月までに『CAN-DO リスト』の設定に至っていない数校に対しては、当該の市町村教育委員会の指導・助言により平成 30 年度初めまでに設定する。  
『CAN-DO リスト』の設定に加えて、『CAN-DO リスト』の内容を見直すとともに生徒・保護者へ公表し、その達成状況を把握するための評価規準の設定や評価の方法について改善を図るよう「英語教員指導力向上研修」や新たな教育課程に関する説明会において周知徹底を図る。
- ④ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について  
「英語教員指導力向上研修」や新教育課程説明会において、新学習指導要領に示された「英語による英語の授業」のねらいが十分に理解されるように、参考となる授業や取組事例を周知することで各校の授業改善を図り、平成 30 年には全体の 7 割以上の学校で、ペア・グループワーク等を中心とした英語による言語活動が授業の中で行われるように取り組む。
- ⑤ 「各科目におけるスピーキングテスト及びライティングテストの実施状況」について  
スピーキングテスト及びライティングテストの実施状況を明確に伝え、「英語教員指導力向上研修」、新教育課程説明会や各地区の研修会等において指導・助言を行う。
- ⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について  
「英語教員指導力向上研修」を実施するとともに、新たな教育課程に関する説明会及び各地区の研修会等で参考となる授業や取組事例を周知することで各校の授業改善を図る。
- ⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について  
新学習指導要領の移行措置期間、全面実施に向けて、小学校の外国語教育の理解や小学校、高等学校との接続が不可欠であることに対する共通理解を深め、各地区の研修会の充実を図るとともに研修会受講の重要性について理解を図る。

## 《検証・改善》

教員の数値目標達成に向けては、以下の方法でその進捗を定期的に管理し改善に努める。

- 県内全中学校に対する英語教育実施状況調査（英語教員の外部検定試験受験結果等の把握を含む）〔12月〕
- 市町村教育委員会、県教育委員会指導主事による学校訪問時における、管理職及び教員に対する聞き取り調査〔通年〕

## 【小学校】

## 《目標達成に向けた取組》

目標を達成するため、以下の取組を実施する。

## ⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について

平成27年度から実施している「小学校教員外国語活動指導力向上研修」では、各小学校1名の中核教員への研修を進めてきた。平成29年度から新学習指導要領に向けて「小学校英語教育指導力向上研修」と名称を変更し、平成31年度までに各小学校から2名の教員が本研修に参加し、小学校英語教育の中核教員となることを計画する。

また、各小学校における中核教員による校内研修をその具体的な方法を示すことで充実を図る。その状況については、市町村教育委員会が、各小学校で行う校内研修の内容や課題について集約し、県教育委員会に報告する。

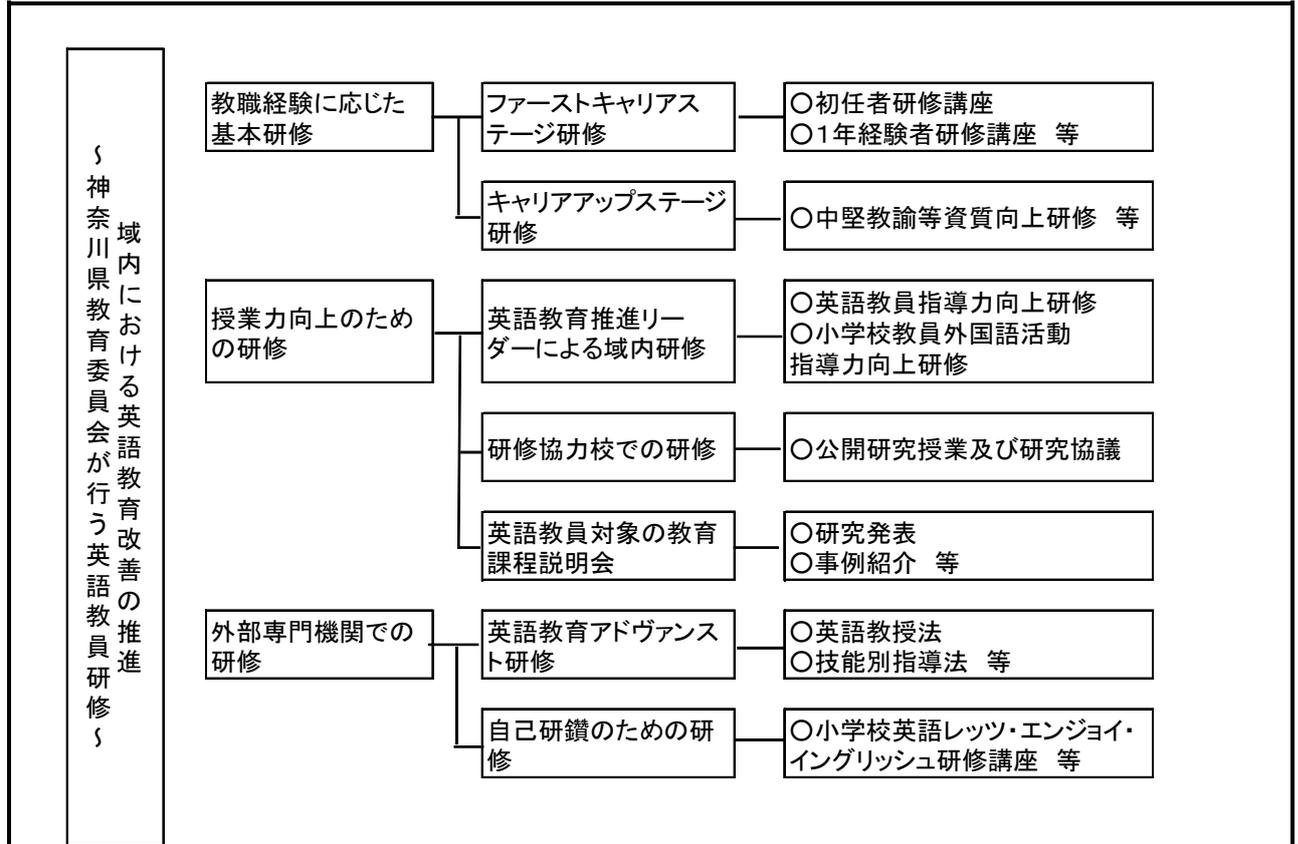
さらに、国際言語文化アカデミアが実施する、市町村教育委員会・教育研究会単位の出張研修の活用を促進する。

## 《検証・改善》

教員の数値目標達成に向けては、以下の方法でその進捗を定期的に管理し改善に努める。

- 研修実施回数、受講者数について実施後の数値を把握する。
- 国際言語文化アカデミアが実施する「出前研修」実施状況について把握する。

(3) 研修の体系と内容の具体



【高等学校】

○ 初任者研修講座

対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員初任者
目的	学習指導目標を体系的に理解し、カリキュラム・マネジメントの視点を持って、授業づくりに必要な基礎的・基本的な知識や技能及び教科指導の技術を身に付ける。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領のねらいを踏まえ、学習指導と評価の関連について理解し、授業づくりの基礎・基本を身に付ける。</li> <li>・授業観察の視点について学ぶとともに、教科指導における課題を把握し、ユニバーサルデザイン等を活用した教材教具や指導法の工夫を図る。</li> <li>・情報活用能力の育成を視野においた授業設計を進めることを通して、分かる授業を実現するための基本的な知識を身に付けるとともに、ICTを効果的に活用することを通して、分かる授業を実現するための基本的な手法を身に付ける。</li> <li>・教科指導における課題を把握し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導法の工夫を図るとともに、授業改善を意識した模擬授業等を通して、学習目標の到達に向けた授業づくりのための実践的指導力を身に付ける。</li> <li>・研究授業の実践を通して、授業づくりの基礎・基本、教科指導の在り方について理解する。</li> </ul>
受講予定者数	80名

評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 30 年度の計画	「授業づくりに向けて」「教科指導における課題と工夫」「分かる授業づくりを目指して」「情報教育の基礎・基本」「ICTを活用した授業づくり」等についての講義・演習・協議等を行う。
○ 1 年経験者研修講座	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 1 年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、研修等で得た知識や技能を活用し、実践的な授業力の向上を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の活用について理解を深め、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践的な授業力の向上を図る。</li> <li>・研究授業の実践を通して、授業づくりにおける自らの課題を把握し、今後の実践にいかす手立てを考える。</li> <li>・学校訪問サポートによる授業実践の観察、協議を通して、分かる授業づくりのための授業改善について理解を深める。</li> </ul>
受講予定者数	77 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 30 年度の計画	「分かる授業づくりの実践」「より良い授業づくり」等についての講義・演習・協議等を行う。
○ 2 年経験者研修講座	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 2 年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、教員としての自己の課題を認識し、教材活用能力の向上等、授業改善に向けての知識や技能の充実を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫改善を通して、「分かる授業」についての理解を深める。</li> <li>・研究授業の実践を通して、授業づくりにおける自らの課題を把握し、今後の実践にいかす手立てを考える。</li> </ul>
受講予定者数	68 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 30 年度の計画	「より良い授業づくりに向けて」等についての講義・演習・協議等を行う。
○ 5 年経験者研修講座	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 5 年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、教科指導に関する専門的な知識や技能を習得し、生徒の個々の課題に応じた授業力の向上を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の専門性を踏まえ、生徒個々の課題に対応した、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりについて理解を深める。</li> <li>・研究授業の実践を通して、授業づくりにおける自らの課題を把握し、今後の実践にいかす手立てを考える。</li> </ul>
受講予定者数	54 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成30 年度の計画	「より良い授業づくりを目指して」等についての講義・演習・協議等を行う。

○中堅教諭等資質向上研修講座	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 8～10 年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、授業改善に必要な知識や技能を充実させるための手法について学ぶ。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善に向けて、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりや情報教育の推進等、教科指導における課題と工夫について理解を深め、また生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを目指し、教科指導の具体的な工夫を図る。</li> <li>・カリキュラム・マネジメントを意識し、単元（題材）構想や評価計画を踏まえた意図的・計画的な授業づくりに向けて、授業技術の向上を図る。</li> <li>・評価の観点や指導と評価の一体化等を意識した授業展開の実現に向けた取組を通して、授業改善の意義を理解する。</li> <li>・授業改善・充実を図るために必要な「カリキュラム・マネジメント」とその視点に立った学習を実現するための授業づくりについて理解を深める。</li> <li>・カリキュラム・マネジメントを通して学校の課題の改善を図るための知識や技能を身に付け、中堅教員としてできることを考える。</li> </ul>
受講予定者数	26 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 30 年度の計画	「教科指導における課題と工夫」「学習指導案と評価計画」「授業評価と授業分析」等についての講義・演習・協議等を行う。
○ 公開研究授業	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 ※教育事務所の指導主事及び研修協力校の近隣中学校の教員も対象とする。
目的	研修協力校及びグローバル教育研究推進校の授業を公開するとともに、研究協議を行い、各校の授業改善を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業の後、研究協議により、参加者は、研修協力校及びグローバル教育研究推進校の取組について理解を深めるとともに、効果的な指導方法について意見を交換する。</li> <li>・外部有識者（神奈川大学、国際言語文化アカデミア）が指導・助言を行う。</li> <li>※公開研究授業の準備段階においても外部有識者が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。</li> </ul>
受講予定者数	40 名程度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者対象のアンケートにより評価する。</li> <li>・英語教育実施状況調査の結果により評価する。</li> </ul>
平成 30 年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」に係る研修協力校 1 校（神奈川県立小田原高等学校）が継続して研修協力校となる。</li> <li>・上記の 1 校に加えて新たに 1 校（神奈川県立横須賀明光高等学校）を研修協力校とする。</li> <li>・県指定のグローバル教育研究推進校でも公開研究授業を行う。</li> </ul>

○ 教科別教育課程説明会（外国語・英語）	
対象	全課程教員 ※各教育事務所の指導主事も対象とする。
目的	・英語による授業の効果的な指導法について研修を行い、英語教員の指導力向上を図る。 ・英語4技能をバランスよく育成する指導方法について研修を行い、各校の授業改善を図る。
内容	・研修協力校及びグローバル教育研究推進校の研究担当者が、各校における研究実践について発表する。
受講予定者数	170名程度
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。 ・英語教育実施状況調査の結果により評価する。
平成30年度の計画	・大学教授による指導と評価に関する講演を通じて、各校での評価方法の改善を図る。
○ 「英語教育アドヴァンスト研修」	
対象	県内の優秀英語教員
目的	英語教員の英語指導力向上を効果的に推進できる人材を育成し、その成果を他の教員に還元することで、英語教員全体のレベルアップを図る。
内容	・英語による討論における手順と留意点 ・英語によるプレゼンテーション資料・レポートの書き方 ・言語習得を促す教材開発、教材活用 ・自らの授業を改善する方法（課題発見・仮説の設定・成果の検証） ・教科書を活用して異文化理解を促進する手法 ・その他
受講予定者数	15名
評価方法	・参加者対象のアンケート、授業観察により評価する。 ・受講修了者が講師となつて行う研修の回数により評価する。
平成30年度の計画	平成28年度から5年間で約75名の中核教員を育成するため、15名の教員を対象とする。
平成32年度までの計画	対象を15名程度として、研修を継続する。
○ 「英語教員指導力向上研修」	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員
目的	・英語教員の英語力の向上を図る。 ・英語による授業を行うための実践的な指導法についての研修を行い、各校での授業改善を図る。
内容	・英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。 ・「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」に係る言語活動、教室英語、語彙・表現、コミュニケーションを支えるための文法等について学ぶ。
受講予定者数	300名
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。 ・英語教育実施状況調査の結果により評価する。
平成30年度の計画	研修を継続するとともに、次年度の実施に向けた検証を行う。

## 【中学校】

## ○ 初任者研修講座

対象	中学校の外国語教員初任者
目的	学習指導目標を体系的に理解し、カリキュラム・マネジメントの視点を持って、授業づくりに必要な基礎的・基本的な知識や技能及び教科指導の技術を身に付ける。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領のねらいを踏まえ、学習指導と評価の関連について理解し、授業づくりの基礎・基本を身に付ける。</li> <li>・模範授業及び協議を通して「分かる授業づくり」について理解する。</li> <li>・情報活用能力の育成を視野においた授業設計を進めることを通して、分かる授業を実現するための基本的な知識を身に付けるとともに、ICTを効果的に活用することを通して、分かる授業を実現するための基本的な手法を身に付ける。</li> <li>・教科指導における課題を把握し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導法の工夫を図る。</li> </ul>
受講予定者数	30名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成30年度の計画	「授業づくりに向けて」「分かる授業づくりを目指して」「情報教育の基礎・基本」「ICTを活用した授業づくり」「教科指導における課題と工夫」等についての講義・演習・協議等を行う。

## ○ 1年経験者研修講座

対象	
目的	
内容	県内4教育事務所で対応しています。
受講予定者数	
評価方法	
平成30年度の計画	

## ○ 2年経験者研修講座

対象	中学校の外国語教員2年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、教員としての自己の課題を認識し、教材活用能力の向上等、授業改善に向けての知識や技能の充実を図る。
内容	・生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫改善を通して、「分かる授業」について理解を深める。
受講予定者数	31名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成30年度の計画	「より良い授業づくりに向けて」等についての講義・演習・協議等を行う。

○ 5年経験者研修講座	
対象	中学校の外国語教員5年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、教科指導に関する専門的な知識や技能を習得し、生徒の個々の課題に応じた授業力の向上を図る。
内容	・教科の専門性を踏まえ、生徒個々の課題に対応した、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりについて理解を深める。
受講予定者数	29名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成30年度の計画	「より良い授業づくりを目指して」等についての講義・演習・協議等を行う。
○中堅教諭等資質向上研修講座	
対象	中学校の外国語教員8～10年経験者
目的	カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、授業改善に必要な知識や技能を充実させるための手法について学ぶ。
内容	・授業改善に向けて、ユニバーサルデザインの視点をいかした授業づくりや情報教育の推進等、教科指導における課題と工夫について理解を深め、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを目指し、教科指導の具体的な工夫を図る。 ・カリキュラム・マネジメントを意識し、単元（題材）構想や評価計画を踏まえた意図的・計画的な授業づくりについて学び、授業技術の向上を図る。 ・評価の観点や指導と評価の一体化等意識した授業展開の実現に向けた取組を通して、授業改善の意義を理解する。
受講予定者数	14名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成30年度の計画	「教科指導における課題と工夫」「学習指導案と評価計画」「授業評価と授業分析」等についての講義・演習・協議等を行う。
○「英語教員指導力向上研修」	
対象	県内の各教育事務所（4所）が選出した教員
目的	・英語教員の指導力の向上に資する研修を実施することで、教員自身が英語力を向上しようとする意欲を身に付ける。 ・英語の4技能に関する研修を通して、「CAN-DOリスト」（4技能の学習到達目標を設定したもの）の効果的な活用方法を理解する。
内容	・英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。 ・「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」に係る言語活動、教室英語、語彙・表現、コミュニケーションを支えるための文法について学ぶ。
受講予定者数	120名（平成31年度までの研修計画に基づき各地区より選出。）
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。 ・英語教育実施状況調査の結果により評価する。
平成30年度の計画	求められる英語力を有していない英語教員を優先して研修対象者に含めるようにする。

## 【小学校】

## ○ 「小学校教員外国語活動指導力向上研修」

対象	県内の各教育事務所（4所）が選出した教員
目的	・小学校教員の外国語活動における指導力の向上に資する研修を実施し、教員自身が英語力を向上しようとする意欲を身に付ける。
内容	・英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。 ・教室英語、絵本の活用、単語や表現の学習、ALTとの打合せ、歌の活用、アルファベットの音、指導案の作成、他教科と関連した内容を取り入れた活動について学ぶ。
受講予定者数	121名（平成31年度までの研修計画に基づき各地区より選出。）
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。
平成30年度の計画	・県域の全ての小学校への中核教員の配置を完了する。 ・各小学校における校内研修の推進・充実を図る。 ・新学習指導要領の内容や新教材についての理解を図る

## ○ 自己研鑽研修講座「小学校外国語活動レッツ・エンジョイ・イングリッシュ研修講座（3・4年向け）」（総合教育センター主催）

対象	小学校教員・特別支援学校教員
目的	小学校外国語活動の授業の充実に向けて、授業で使用できる活動等を習得し、実践的な指導力の向上を図る。
内容	児童の興味・関心を踏まえた活動やその進め方について理解し、先進的な取組やアクティビティの紹介等を通して、外国語活動の目標を実現するための具体的な方法やポイントについて理解を深める。
受講予定者数	36名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成30年度の計画	「児童の意欲を高める活動の工夫」についての講義・演習、及び「コミュニケーション能力を育む外国語活動」についての実践報告を行う。

## ○ 自己研鑽研修講座「小学校外国語レッツ・エンジョイ・イングリッシュ研修講座（5・6年向け）」（総合教育センター主催）

対象	小学校教員・特別支援学校教員
目的	小学校外国語の授業の充実に向けて、授業で使用できる活動等を習得し、実践的な指導力の向上を図る。
内容	子どもが興味を持って取り組める外国語の授業の工夫や、授業で使えるアクティビティについて学ぶ。理論の解説だけでなく、先進的な取組事例を紹介することにより、「小学校教育のための外国語授業」についての理解を深め、指導力向上を目指す。
受講予定者数	38名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成30年度の計画	「子どもに興味を持たせる活動の工夫」について、講義・演習を行う。

## (4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組			外部専門機関等
	総合教育センター主催	国際言語文化アカデミア主催	県教育委員会 高校教育課主催	
4月	指定研修 (初任者、 1・2・5 年経験者・ 中堅教諭等 資質向上研 修受講者対 象)		・校長対象教育課程説明会	
5月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・副校長又は教頭対象教育課程説明会	
6月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・研修協力校における公開研究授業準備 ・研修協力校による近隣中学校の授業視察	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
7月		・「英語教育アドヴァンスト研修」 ・英語教員対象夏期自己研鑽研修	・研修協力校における公開研究授業準備 ・研修協力校による近隣中学校の授業視察	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
8月	・「小学校教員外国語活動指導力向上研修」(小)	・「英語教育アドヴァンスト研修」 ・「英語教員指導力向上研修」(中) ・英語教員対象夏期自己研鑽研修 ・英語教育公開フォーラム		
9月	・「小学校教員外国語活動指導力向上研修」(小)	・「英語教員指導力向上研修」(中)	・研修協力校における公開研究授業準備 ・研修協力校による近隣中学校の授業視察	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
10月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・校長対象教育課程説明会 ・副校長又は教頭対象教育課程説明会 ・研修協力校等における公開研究授業	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
11月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・研修協力校等における公開研究授業 ・教科等別教育課程説明会(外国語・英語)	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。

1 2月			・「英語教育アドヴァンスト研修」	・「英語教員指導力向上研修」(高)	
1月			・「英語教育アドヴァンスト研修」	・「英語教員指導力向上研修」(高)	
2月				・「英語教員指導力向上研修」(高)	
3月		▼			
<p><b>【その他の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際言語文化アカデミア主催による英語教員対象の各種講座に希望者が申し込み、主体的に指導力の向上を図る。</li> </ul>					

